

平成29年第3回

伊根町議会定例会会議録

平成29年9月11日（第2号）

伊 根 町 議 会

平成29年第3回（定例会）

伊根町議会 会議録（第2号）

招集年月日	平成29年 9月11日 月曜日						
招集場所	伊根町コミュニティセンター ほっと館 ふれあいホール						
開閉の日時 及び宣告者	開会	平成29年 9月11日 9時27分			議長	泉 敏夫	
	散会	平成29年 9月11日 11時20分			議長	泉 敏夫	
応（不応）招 議員及び 出席並びに 欠席議員	議席番号	氏名	出欠	議席番号	氏名	出欠	出席 9名 欠席 0名
	1	和田義清	○	6	大谷 功	○	
	2	藤原正人	○	7	佐戸仁志	○	
	3	濱野茂樹	○	8	上辻 亨	○	
	4	松山義宗	○	9	泉 敏夫	○	
	5	山根朝子	○	10			
地方自治法 第121条 の規定によ り説明のた め出席した 者の職氏名	職	氏名	出欠	職	氏名	出欠	出席10名 欠席 0名
	町長	吉本秀樹	○	住民生活課長	石野 靖	○	
	副町長	小西俊朗	○	保健福祉課長	須川清広	○	
	教育長	石野 渡	○	地域整備課長	白須 剛	○	
	総務課長	鍵 良平	○	教育次長	梅崎 良	○	
	企画観光課長	上山富夫	○	会計管理者	増井和彦	○	
職務のため 出席した者 の職氏名	議 会 事務局長	倉 正人	○	主 事	池野早紀子	○	
会 議 録 署名議員	3番	濱野 茂樹		6番	大谷 功		
議 事 日 程	別紙のとおり						
会 議 に 付 した 事 件	別紙のとおり						
会 議 の 経 過	別紙のとおり						

平成29年 第3回 伊根町議会定例会

議事日程 (第3号)

平成29年9月11日(月)

午前 9時27分 開議

日程第 1 会議録署名議員の指名

日程第 2 議案第60号 平成28年度伊根町歳入歳出決算認定について
(質 疑)

会議に付した事件

日程第 1 会議録署名議員の指名

日程第 2 議案第60号 平成28年度伊根町歳入歳出決算認定について
(質 疑)

会 議 の 経 過

平成29年9月11日(月)
午 前 9時27分 開議

◎ 開会・開議の宣言

○議長(泉 敏夫君) おはようございます。

時間、ちょっと若干定刻よりは早いですが、会議を始めたいと思います。

ただいまの出席議員は全員です。

これから本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

◎ 日程第1 会議録署名議員の指名

○議長(泉 敏夫君) 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第123条の規定によって、議長において

3番、濱野茂樹君

6番、大谷 功 君を指名します。

以上の両議員に差し支えのある場合は、次の号数の議席の議員にお願いします。

◎ 日程第2 議案第60号

○議長(泉 敏夫君) 日程第2、議案第60号 平成28年度伊根町歳入歳出決算認定についてを議題とします。

初めに、質疑の区分についてお諮りします。

慣例により、一般会計歳入歳出決算の歳入全般を一区切りとします。一般会計歳入歳出決算の歳出のうち、1款議会費から7款商工費までを一区切りとします。次に、8款土木費から14款予備費までを一区切り、合計3区切りとして質疑をお願いしたいと思います。

特別会計は、国民健康保険特別会計で、まず事業勘定歳入歳出決算を一区切りとします。次に、伊根診療所勘定歳入歳出決算及び本庄診療所勘定歳入歳出決算を一括して一区切り、合計2区切りで質疑をお願いしたいと思います。

その他の特別会計は、会計ごとに区切って質疑をお願いしたいと思います。

以上のような区分で質疑を行いたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(泉 敏夫君) 異議ないようでありますので、そのような区分で質疑をお願いします。

それでは最初に、一般会計歳入歳出決算の歳入全般を対象として質疑を行います。1番、和田義清君。

○1番(和田義清君) おはようございます。

それでは、決算報告書の8ページの寄附金の件なんですけれども、応援寄附金が349.8%の増ということで、付属書の19ページのほうに寄附の状況のほうを示されておるわけなんですけれども、寄附の状況のほうなんですけれども、どの辺が大きく増えて、増えた要因をどのように分析しておられるのか、もしわかればお聞きしたいんですが。

○議長(泉 敏夫君) 上山課長。

○企画観光課長(上山富夫君) ふるさと応援事業、ふるさと応援寄附金の関係でございますが、本年度の決算書では19ページに寄附の状況のほう一覧にさせていただいております。過日の全協でもお話をしましたように2,062万4,000円というふうな額となっておりますが、昨年度と同じ額で申し上げますと445万5,000円ということで、大きく増加をしておるところでございます。

それぞれ舟屋の維持の関係、それから町並み美化、景観形成事業の関係、少子高齢化ということ

でそれぞれの事業を述べておりますが、大きくは舟屋の維持の部分で、昨年度84万だったものが302万というふうに大きく伸びております。また、少子高齢化についても去年108万であったものが今年度214万とここも大きく増えております。

また、新たな項目といたしまして、今年度は農林水産業の振興に係る事業ということで73万円、それから観光振興に係る事業ということで72万円、それぞれ新たに項目が設置されまして、これは皆増という形になっております。

また、指定なしの部分につきましては、昨年度は197万円でありましたが、今年度指定なし、記載のありますとおり1,213万とここも大きく伸びております。

押しなべてそれぞれの事業、それぞれの項目で大きく伸びておりますが、全体では約1,550万程度大きく増加をすることとなりました。

また、全体といたしましては、今年度は1,839名の方からご寄附をいただいておりますが、昨年度は全国から241名の方々からいただいたという状況となっております。

以上です。

○議長（泉 敏夫君） ほかにご質疑ございませんか。6番、大谷功君。

○6番（大谷 功君） 付属書の3ページの5番、有価証券、前年度から債券運用を始めたということなんですが、この債券の北海道債、大阪府債、島根県債というところを選んだ理由というのがありましたらお聞かせ願いたいのと、東京都債、地方公共団体金融機構債を売却されと思うんですが、その売却益、金利等わかれば教えてください。

○議長（泉 敏夫君） 総務課長。

○総務課長（鍵 良平君） ただいまの大谷議員さんの有価証券に関するご質問なんですが、手元に資料がございませんので、しばしお時間をいただきまして調べた後に答弁をさせていただきます。よろしく願いいたします。

○議長（泉 敏夫君） ないようでありますので、次に。4番、松山義宗君。

○4番（松山義宗君） 地方創生に関するお金というのは一体どれぐらい入っているのかちょっとお教えてください。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○企画観光課長（上山富夫君） 地方創生に係ります補助金といたしましては、決算書の29ページをご覧ください。29ページの一番上段でございます。

国庫補助金、総務費国庫補助金でございますが、29ページの一番上の段の2行目、地域創生加速化交付金、これは明許繰越分ですが、こちらが4,890万9,000円、また、地方創生推進交付金ということで613万4,400円、こちらの歳入となっております。

○議長（泉 敏夫君） ほかにありませんか。ご質疑ありませんか。

ないようでありますので、次に、一般会計歳出の1款議会費から7款商工費までを対象として質疑をお願いします。5番、山根朝子君。

○5番（山根朝子君） 高齢化対策推進事業、決算付属書の40ページですけれども、高齢者の買い物支援事業で人数が出ていますけれども、旧村単位別の利用人数を教えてください。

○議長（泉 敏夫君） 須川課長。

○保健福祉課長（須川清広君） 旧村単位ごとの利用者状況でございます。

全部で実人数で98名のうち伊根地区が16名、朝妻地区が35名、本庄地区で18名、筒川地区で29名でございます。

○議長（泉 敏夫君） ほかにご質疑ありませんか。4番、松山義宗君。

○4番（松山義宗君） 決算付属書の18ページなんですが、代替バスの運行に関してですが、災害時に丹海バスさんのほうが運行できないということで町のほうが独自にバスを出して町民の足を確保したというのは評価に値すると思うんですが、この39万6,360円というのを丹海さんのほうに請求することというのはできないのか否かというのをちょっとお答えください。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○企画観光課長（上山富夫君） 災害時の丹海バスに伊根町が代替バスの運行を依頼したという状況の部分でございますが、実は丹海へも伊根町のほうから何とか代替バスを出してもらえんかとい

うお話をさせていただいたところでございますが、災害等自然状況等の対応については運行会社としてはできないという回答があったところでございます。よって、住民の移動手段の確保ということで伊根町のほうが代替バスの運行をさせていただいたところでございます。丹海のほうからはしっかりとできませんという回答をいただいたところでございます。

○議長（泉 敏夫君） 4番、松山義宗君。

○4番（松山義宗君） 委託とか契約というのはそういう内容になっているのでしょうか。路線バスか、あれは。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○企画観光課長（上山富夫君） 路線バスで、国交省の多分便どおりに運行なされておる事業だろうというふうに理解しております。

○議長（泉 敏夫君） 1番、和田義清君。

○1番（和田義清君） 同じところの質問なんですけれども、早急に動いていただいて町のほうが独自に確保していただきまして非常に評価するところでありまして、感謝もいたします。

結果、このときの前回の全協のときにも事前をお願いしていたんですけれども、このときの結局、利用者数がわかれば教えていただきたいんですけれども。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○企画観光課長（上山富夫君） 運行状況ですが、残念ながら把握ができておりません。

通常の路線バスの代替ということで、特段そのときの利用状況については丹海のほうに把握をして数値を教えてくださいというようなお願いをしておりますので、運行状況、利用者の数については把握ができていないところでございます。

○議長（泉 敏夫君） 8番、上辻亨君。

○8番（上辻 亨君） ちょっと関連なんですけれども、違うところと言っていいのかわからないんですけれども、今、通行止めといいますか、片側信号でなっておるわけですが、いつごろになったら通行というのか、あれが解除できるのか、ちょっとわかれば教えてください。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 丹後土木のほうの予定としましては、今年度内に斜面を復旧して、両側、片側交互交通にしたいという考えをお持ちですが、今のところまだ発注されておりませんので、発注されたら大体見通しは立つのかなと思っております。

○議長（泉 敏夫君） 5番、山根朝子君。

○5番（山根朝子君） 決算書の99ページ、保健衛生共通事務費の19の負担金ですけれども、医師確保と看護師確保の奨学金事業です。

28年度は何名の奨学生が確保できたのか、また、伊根町出身者はおられますか。

○議長（泉 敏夫君） 石野課長。

○住民生活課長（石野 靖君） 決算付属書を見ていただきたいんですが、付属書46ページになります。

医師確保につきましては1名ありました。看護師確保につきましては12名ありました。ちなみに町内から看護師については1名あったと聞いております。

以上です。

○議長（泉 敏夫君） ほかに質疑ございませんか。1番、和田義清君。

○1番（和田義清君） 決算付属書の15ページなんですけど、一番上の普通財産管理費のほうなんですけれども、609万3,000円が上がっておるんですけれども、これは地区名のほうも明記していただいておりますけれども、ほとんどこれは工事の際に登記しないとだめなところがほとんどという認識でよろしいんですか。

○議長（泉 敏夫君） 増井管理者。

○会計管理者（増井和彦君） 普通財産管理費についてお答えをいたします。

登記の事務処理件数ですが162件と記載しております。登記整理業務の609万3,360円の件でございますが、いずれもそれぞれ工事に関しての登記業務、さらに地積の更正、分筆、地図訂正、表示登記、保存登記、抵当権の抹消、所有権移転の登記で、これも全てこれまで

から難解のために放置されておりました登記も含めてでございます。

以上です。

○議長（泉 敏夫君） 5番、山根朝子君。

○5番（山根朝子君） 決算付属書の70ページの外国人観光客の動向調査をされたということが書かれています、結果はどうだったのか教えてください。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○企画観光課長（上山富夫君） 観光協会の補助事業に係る外国人観光客の動向調査の部分でございます。

実際には観光協会が国籍の聞き取りの調査を実施したものでございます。これは次年度以降の受け入れ態勢強化につなげる、資するものということで事業を実施しております。実際には28年度だけじゃなしに27年1月から事業を開始しております、27年1月から29年3月、本年3月までの1年3カ月の間ということにはなるんですが、聞き取りできた方々が457件ございました。

その457件の分類ですが、台湾からのお客様が251人、タイからのお客様が45人、香港から40人、中国から28人、韓国から15人、また、フランスとオーストラリアが同数で12人と続いております。よって、台湾のお客様が全体の55%を占めることとなります。また、台湾、香港、韓国、中国の東アジアの4カ国だけで全体の73%を占める割合という状況となっております。

○議長（泉 敏夫君） ほかに質疑ございませんか。1番、和田義清君。

○1番（和田義清君） 全協でもお聞きしましたけれども、決算報告書の16ページです。

海の京都の北部地域連携都市圏の事業概要のところ、管理釣り場の開設に向けた筒川流域の生態調査ということで書いてあるんですけども、これの具体的な構想と、どのようなどころまでお話が進んでいるかをお聞かせ願いたいんですが。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○企画観光課長（上山富夫君） 伊根町観光協会、DMOが行いました事業の一つとして筒川管理釣り場開設に向けた筒川流域の生態調査ということで記述をさせていただいておりますが、事業の一つとして本庄地区での新たな観光資源として期待される筒川での管理釣り場開設に向けた調査ということでございます。

この事業につきましては、京都大学の教授の監修を受けて実施をされておまして、実際には4月と9月に2日間ずつ流域の調査が行われております。

調査結果では、豊富な湧水があるすばらしい川であること、また、この地域が理想的なマス類の生息環境が保たれているということで大変評価をされております。

この評価の内容から今回提案がありましたのは、マスの放流候補地のマップや放流計画が提案報告をされております。よって、この事業から、今後事業主体であります観光協会がこの内容について検討いただけるものではないかと考えておるところでございます。

○議長（泉 敏夫君） ほかにございませんか。4番、松山義宗君。

○4番（松山義宗君） 決算付属書の20ページ、21ページなんですが、海の京都事業に関連したそれぞれの報告書、あるいは戦略拠点強化学業、それから滞在型の観光まちづくり事業に対する報告書、企画、立案というふうなことがずっと書かれています、全てが庵さんがやられたという、特定の業者がやられております。

この合計をしますと3、400万ぐらいになるんです。その中で、この報告書、一番上に当たりますか、(5)「海の京都」伊根町交流施設建設に係る施工監修業務、この報告書を見せていただいたんですけども、たしかこれは補正予算で四千数百万の補正が組まれておりました。その内容がこの報告書にはどのページに該当するのかわかりませんとお教え願いたいということと、余りにも高額な金額に対してどのような積算根拠と見積もりをもって、予算上、当初予算で全て出たものなどは思いますけれども、それをちょっとお示し願えませんでしょうか。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○企画観光課長（上山富夫君） 庵プロデュースに委託しました各事業のことでございますが、まず、過日、議員の皆様にお配りいたしました施工監修業務847万8,000円の内容についてで

ございます。

補正を出した部分とどこにリンクをするのかということでございますが、報告書を見ていただきますとわかりますとおり、数々の多くの打ち合わせを庵と、それから建設会社、また伊根町も入り、また管理運営主体となります事業者もでございます。それぞれの多くの打ち合わせをする中で積み重ねてきた内容を、それまでに必要と判断される内容について昨年の12月の補正で補正要求させていただいておりますので、一概にどこの部分ということはなかなか説明がしがたいなというふうに思っております。打ち合わせ結果により必要と判断したものを全て踏襲させていただいて、補正上げさせていただいたという内容でございます。

また、予算上どのようにこの金額を上げてきたのかということでございますが、予算につきましては、事業者との随意契約ということで契約をさせていただいております。

この海の京都推進事業に係ります全般的なお話にはなるんですけれども、今回、伊根町では海の京都構想に基づいて総合的な観光地域づくりに取り組んできております。また、観光のより一層の推進には、昨年度の事業でいいますと、食事、それから宿、それから楽・学という体験の部分、これが一体となって観光客をもてなす仕組みづくりが必要となってまいります。

28年度末には、食を供給するための観光交流施設が完成しておりますが、それに続きます宿と、楽しみ・学ぶという2つのテーマに取り組むこととして、21ページの一番下段にあります滞在型観光まちづくり事業を行ってきたものでございます。

これらの事業の積算については、一定業者から内容を、実際にはほかの業者からの見積もりは出させておりませんが、それぞれに係る人工を、それからそれに係る人件費を確認させていただいて、十分な事業ができるであろうということと妥当な金額であろうということと判断し、随契により契約を締結させていただいてきました。

全体のことはなるんですけれども、特にこの21ページの10番の滞在型体験観光まちづくり事業、これについても現況の調査及び企画立案業務が1,199万9,880円と、大変多額な金額にはなっておりますが、これについては、先ほど申しあげました食の部分が舟屋日和の完成によりできましたので、残りの宿の部分、また体験メニューの構築に向けた取り組みを実施するために行った事業でございます。

概要といたしましては、伊根町の滞在型体験観光まちづくりを目指すことを明確にするため方向性、将来性、可能性を確認すること、また、それを実現させるための仕組みとして官民の役割の考え方を検討した業務となっております。

具体的には、体験メニュー、企画の部分では、地域の暮らしと文化資源の調査を行うため町内全域47回のヒアリングを実施した上で、伊根町での着地型ツアー体験プログラムの企画案を提出させることができたところでございます。

また、もう1点、宿のほうにつきましては、昨年度購入した母屋と舟屋を旅館業法に定める簡易宿所とするため、実測調査を行った上で必要な機関との協議調整を行い、課題が抽出できたところでございます。

こちらのほう、先ほど、前回の全協でお示しました20ページ(5)施工監修業務の847万8,000円の報告書につきましては皆様方のお手元に配付をしたとおりですし、21ページの下段、滞在型体験観光まちづくり事業につきましても、こちらの現況調査、企画立案についても報告書は250ページにわたって報告書の提出を受けて、それを伊根町として検収をさせていただいたところでございます。

以上です。

○議長(泉 敏夫君) すみません、それではちょっと休憩いたします。

休憩 9時58分

再開 10時03分

○議長(泉 敏夫君) それでは、再開いたします。

ほかにご質疑ございませんか。1番、和田義清君。

○1番(和田義清君) 決算付属書の16ページなんですけれども、伊根町地域力向上支援事業補助金の中で、補助実績として菅野地区の情報発信事業で1万5,000円の補助額がついているわ

けですけれども、これはホームページに維持管理としての補助金という認識でよろしいですか。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○企画観光課長（上山富夫君） ホームページの維持管理に係ります経費に対しての補助でございます。

○議長（泉 敏夫君） 1番、和田義清君。

○1番（和田義清君） 大変、さ・いこう会ですか、やっておられることを非常に評価するところではあるんですが、実はそのホームページをちょっと見せていただいたところ、2015年4月21日が最新の更新でありまして、1万5,000円こちらのほうで補助を拠出しておるんですから、課のほうからももう少し積極的に情報発信のほうをする指導とか、今、情報発信で地域協力隊の方が一所懸命やっておられますのでその方の協力も仰ぎながらやっていただきまして、定住促進につながるやもしれない大切な事業だと思いますので、こちらのほうしっかりとご指導していただきたいと思います。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○企画観光課長（上山富夫君） 和田議員おっしゃいますとおり、なかなかホームページの更新ができていないという状況も確認をさせていただいております。

実際にはホームページを残すというんですか、維持管理をする、残しておくための経費が必要だということでこの1万5,000円支出をさせていただいておりますが、実際にはもっとほかの多くの事業計画もされておりましたが、実際には事業になかなか取り組めなかったということで、これだけの補助で実績とさせていただいております。

その会議の中でも、これを決定する段階でも、会の代表の方が来られまして、今後少し期間を置いて会の立てなおしも含めて十分な運営について考えていくということで、今年度は事業の見直しの期間ということで、今後の事業体策を地元で考えておられるんだろうなというふうに認識をしております。

以上です。

○議長（泉 敏夫君） ほかにございませんか。6番、大谷功君。

○6番（大谷 功君） 付属書の18ページ、④の定住促進事業の地域の教科書の作成ですが、これは大変いい事業かなというふうに思っております、できたら多くのところで作成ができればいいなというふうに思っておりますが、実際この200冊、どういうふうに使われたかお願いしたいと思います。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○企画観光課長（上山富夫君） 地域の教科書につきましては、基本的に移住を希望される方々に配布しておりますほか、東京、それから大阪に移住・定住の窓口が設けてございます。これは伊根町が単独で出すものではなくて京都全体で行っているものですが、こちらのほうにも配布をするなど、伊根町に興味を持たれる方が手に取って見ていただけるように、そちらのほうに配架、それから、コンシェルジュということで相談窓口の方々もいらっしゃいますので、そちらの方々にも十分説明をして配布をして、移住希望の方々に説明もいただいております。

以上です。

○議長（泉 敏夫君） 5番、山根朝子君。

○5番（山根朝子君） 決算書の119ページの多面的機能支払交付金事業というのは、具体的にはどういうものを言われているんですか。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 決算書119ページの多面的機能支払交付金事業でございます。

これは農地費に上がっておりますが、農業のほうでは中山間直接支払事業があります。これは中山間地ということで、急な斜面の比較的手のかかる場所は中山間のほうで農地を守る支援をしております。こちらの多面的機能につきましては、例えば本庄上、浜、宇治とか比較的平らな田んぼのところでの同じような農地を守っていくための支援でございます。2通り、中山間地域と平地と分けて、科目が分かれて支援は行っております。

○議長（泉 敏夫君） ほかにございませんか。ないようでありますので……。すみません、7番、

佐戸仁志君。

○7番（佐戸仁志君） 決算付属書の71ページの一番下、駐車場管理運営費なんですが、3月から始めて事業費61万円、今、釣りのシーズンとなりまして駐車場が今大盛況であります、皆さんご存じかどうかはわかりませんが、5時、6時ごろに釣り客が大西駐車場に入ってまいります。ワンボックスカーに釣り船を積んで来る方もおられます。それがフェンス越しに大西駐車場へとめ船をおろすようなことをされるのを目撃します。

フェンスがすごく傷んでおるといふようなことも目撃できるんですが、もちろん伊根町営住宅前の伝馬小屋横の広場でも、昨日も3台の車がロープを外して中へ入って船を上架しているところを目撃しました。職員の方は目撃したら警察に言うてくれとか役場のほうへ連絡してくれとか言われますが、私も一度注意しましたら逆ギレされて、逆にどなられたこともございます。

一度、朝早いですが、土日役場のほうでパトロールなり何なりされたほうがいいんじゃないかと。そうしないと、伊根町の大事な財産の伊根大西駐車場がまた壊されて要らん予算を使わんなんようなことになるんじゃないかという心配をしております。これについてどう思われますでしょうか。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○企画観光課長（上山富夫君） 伊根町のほうに情報提供があった場合は、それこそ職員だけで行きますとどんなことになるかわからん方々もいらっしゃいますので、警察と連携をとりながら、あかんでという嚴重注意をするなり、必要な措置は行っておるところでございます。

ただ、土日のパトロールということになりますと人件費もかかってきますので、今後、対応については、今初めて私もフェンス越しに船の上げおろしということの話をお伺いしましたので、今後、当課でちょっと検討はしていきたいというふうを考えております。

○議長（泉 敏夫君） 1番、和田義清君。

○1番（和田義清君） 今、佐戸議員が質問されたあれなんですけれども、歳出8款から14款の、そちらに移ったという認識でいいんですか。

○議長（泉 敏夫君） いや、まだいっていません。

○1番（和田義清君） よろしいですか。

○議長（泉 敏夫君） はい。1番、和田義清君。

○1番（和田義清君） 決算付属書の44ページで、保育所の広域入所委託料42万2,340円で、委託先と委託期間のほうがご提示していただいておりますけれども、これは定期的に広域入所で行かれて、その期間内が5月31日から9月17日だったという認識でよろしいですか。

○議長（泉 敏夫君） 須川課長。

○保健福祉課長（須川清広君） 広域入所の件なんですけれども、京丹後市で在任であった保護者の方が伊根町に転入されてきて、この期間転入してきとったわけなんですけれども、その保護者の方がお子さんが保育所に通われておったということで、引き続き保育所に入れたいんですけれども、やっぱり短期間ということがあったんで、伊根町の保育所に入れるんじゃなく、もとの住所地の保育所に入れたいということで希望を出されたので、伊根町から京丹後市に委託して保育をしていたという委託料でございます。この後、また転出されております。

○議長（泉 敏夫君） ほかにございませんか。6番、大谷功君。

○6番（大谷 功君） 付属書の51ページ的环境衛生費、浄化槽設置整備事業補助金ですが、伊根地区の公共下水が終わりまして、あとは全て浄化槽設置に限られることになるんですが、毎年1基とか2基とかいうことで進捗がすごく悪いんですけれども、今後これをどうして進めていくのか、もっと周知徹底が必要ではないのかなというふうに思いますが、いかがですか。

○議長（泉 敏夫君） 石野課長。

○住民生活課長（石野 靖君） 大谷議員からの質問でございますが、伊根地域の漁業集落排水事業が終わったことによりまして、町内は全て単独浄化槽での排水処理のほうになることになっております。

言われますように、1基程度の進捗では普及を図る必要があるかなとも思いますので、この28年度1基でありましたが、過去数年調べてみますと、おおむね大体3基平均で来とったかなと思いますので、今後の水洗化に向けてもう少しPRが必要かなと考えております。

以上です。

○議長（泉 敏夫君） 1番、和田義清君。

○1番（和田義清君） 決算付属書63ページの林業費の①の有害鳥獣対策事業なんですけれども、委託料の中に出来高のほうでご提示されているんですけれども、お願いしました直近5年間のイノシシ、猿、鹿の捕獲頭数がわかれば教えていただきたいんですが。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 全協のほうで直近の5カ年の捕獲状況を説明してほしいという内容でございます。

24年度から5年間、28年度はここに掲載しておりますので、イノシシにつきましては、24年度が192頭、25年度が193頭、26年度が163頭、27年度が278頭となっております。また、猿につきましては、同様に24年度から41頭、25年度が8頭、26年度が32頭、27年度が19頭となっております。鹿につきましては、24年度が1頭、それから飛びまして26年度が2頭、今回の28年度が4頭という内容になっております。

もう一つ、有害捕獲では、28年度に熊が新たに初めて有害でとられたという状況でございます。

このほか、11月中旬から3月中旬までは狩猟の期間になっておりまして有害捕獲はしておりませんが、この期間5年間で700頭近くのイノシシと——ほとんどイノシシですが——約700頭の捕獲をしているというふうに聞いております。

以上でございます。

○議長（泉 敏夫君） 質疑ありませんか。

それでは、ないようでありますので、次に、一般会計歳出の8款土木費から14款予備費までを対象として質疑を行います。5番、山根朝子君。

○5番（山根朝子君） 決算付属書の82ページで教育委員会費です。

委員会の開催の状況が出されていまして、8月定例会で教育費の無償化事業に係るアンケート結果について議論されたように書かれています。アンケート結果がどのようなものだったのか報告してください。

○議長（泉 敏夫君） 梅崎次長。

○教育次長（梅崎 良君） 山根議員のご質問にお答えします。

教育費の無償化に係りますアンケートですけれども、実施いたしましたのは、28年7月に学校長を通じまして保護者の方向けにアンケートの調査を実施いたしました。

アンケートの質問内容ですけれども、教育費の無償化に伴いまして経済的に負担が軽減されたかどうかという、思われますかとか、どちらとも思わないとか、思わない、未記入という、この4項目がございます。

負担軽減された内容ですけれども、給食費と教材費とがございます。あと、修学旅行費につきましては該当者の保護者だけになりますので、まず、給食費ですけれども、伊根小学校では、負担軽減されたと思うという方が79.4%、約8割の保護者の方が負担軽減されたというふうに思っておられるということでありまして、本庄小学校におきましては、86.7%で約9割に近いですが、その方々が思っておられると、伊根中学校におきましては、91.2%で9割の保護者の方が負担軽減されたというふうに感じておられるという、そのようなアンケートの結果でございます。

教材費なんですけれども、伊根小学校では、思うが79.4%、約8割です。本庄小学校では93.3%の保護者の方、伊根中学校では91.2%。この教材費につきましては、8割から9割の保護者の方が負担軽減されたというふうに感じておられるという、そういう結果でございます。

修学旅行費につきましては、本庄小学校が85.7%、伊根小学校、伊根中学校は100%でございました。

もう1点、質問事項で、この教育費の無償化事業を継続して実施したほうがよいかという問いをしております。本庄小学校では80%、8割です。伊根小学校で96.6%、伊根中学校で94.2%というふうなことで、この教育費の無償化事業に取り組みました結果、大体8割から9割の保護者の方がこの事業について負担軽減がされたと、また今後も継続してほしいというそのような思いを持っておられるという、そのようなことが確認をできたところでございます。

○議長（泉 敏夫君） 8番、上辻亨君。

○8番（上辻 亨君） 74ページの住宅管理費なのですが、本坂団地のほうで、建設された当時は駐車場にもカーポートがついておったと思うんです。それが潰れてなくなったところやらついとるところやらがあるんですけども、それはもう潰れたまま設置しないということでもいいのかというのと、あと、定住化促進住宅単身住宅日出団地とその下の同じ井室団地、退去に伴う清掃と書いてあるもの、これは何のことかちょっと教えてください。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） まず、住宅管理でカーポートの件でございます。

カーポートについては、平成の初めに平田団地、本坂団地それぞれ設置しておりましたが、積雪が多いときにどうしてもその雪の重みに耐えられないことで、同じものをもう一回設置してもまた壊れるということで、それを維持しようと思うと住んでおられる方がこまめに雪を落とす作業が必要だということで、最初の一、二件は修繕はしておったんですが、とても修繕が追いつかないということで、入居者をお願いして、もう今後壊れた場合は撤去して更地で使用してくださいという約束をしていただきましたので、今残っておるカーポートについてはしっかりと維持管理を個人でされているのかなと思っております。

それから、単身住宅の退去に伴う清掃でございますが、退去者が出られた場合は、清掃、それから悪い箇所は修繕、修繕の場合はその内容によって個人のほうからいただく場合もございますし、伊根町の負担割合もありますので、その辺は案件ごとに負担割合を定めておおむね敷金の中から引かせていただいております。

退去者が出た場合は必ず清掃をしますので、その費用は必ずついてまいりますので、これ、平均1件当たりどうでしょう、7万円とかその程度ですか、清掃費が主なものになっております。

○議長（泉 敏夫君） 8番、上辻亨君。

○8番（上辻 亨君） 仮に筒川団地に新しい人が入った場合、カーポートをまた新たに設置してくれと言われた場合は設置されるんですか。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） その場合はもう個人で模様がえの申請をしていただいて、個人で建てたいというんでしたら認めますが、伊根町側で設置をする考えはありません。今住んでおられる方と同様に更地になった状態で借りていただくというふうに考えております。

○議長（泉 敏夫君） 4番、松山義宗君。

○4番（松山義宗君） 決算書の138、139ページです。

道路橋りょう費、それから道路維持費、補正を組んでおられるにもかかわらず不用額というのがそれ以上に出ているように思うんですが。

それともう一つ、教育委員会のほうで、168から169ページ、決算書です。ここも同じく公民館費が補正予算をとられていて不用という、この間の説明のやつですかね、ここもお願いします。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 初めに、道路維持費の道路管理事業でございます。

不用額、総額で1,263万4,000円と出ているところでございます。主な内容につきましては、橋梁修繕等につきましては、交付申請を行った中で満額国の補助金がついておりませんので、それに対応する分については未執行でそのまま不用額として計上しております。そのほか、備品購入費の280万等については入札の差金で残額、こういうような内容で、交付決定額に満たない分と、それから入札差金等につきましては不用額で計上しているという内容でございます。

○議長（泉 敏夫君） 梅崎次長。

○教育次長（梅崎 良君） 松山議員の質問ですけれども、公民館費の不用額。

○4番（松山義宗君） 補正予算23万6,000円組んでおられるのに不用額として24万2,885円。

○教育次長（梅崎 良君） 調べまして後ほど回答させていただきます。

○議長（泉 敏夫君） 1番、和田義清君。

○1番（和田義清君） 決算付属書68ページの観光費のところなんですけれども、誘客対策事業

でトイレの借り上げをやっておられるのは非常に有意義な事業であるかなと思います。

その中で、応募数及び採択数が3件となっておりますけれども、これは応募が3件あったんで3件採択したという認識でよいのかというのがまず1点と、2点目は、下の③の広域観光・地域情報提供事業で、伊根町の観光誘致ポスターの製作をデザイン会社から公募してされたということなんですけれども、募集点数7社20作品で事業費77万2,000円ですが、これの審査方法ほどのような形で行われたのかをお示してください。

○議長（泉 敏夫君） 1番目のやつは終わっていますので、後でまた全体的な中でまた質問をお願いします。

それから、2番目のやつ。全部観光費になるので、後のほうで全体的な中でお願いします。

ほかにご質疑ございませんか。5番、山根朝子君。

○5番（山根朝子君） 付属書のほうの80ページです。防災備品の一覧が出ているんですけども、これは、すみません、乳幼児のミルクとか離乳食とかそういうものはないように見受けられるんですが、それは必要ないということですか。

○議長（泉 敏夫君） 総務課長。

○総務課長（鍵 良平君） 防災備蓄品の中の離乳食等のご質問でございますが、現時点で離乳食を想定した備蓄をいまはまだ行っておりませんので、今回のこのご質問を機会に検討の対象とさせていただきますと存じます。

また、ミルクにつきましては、この防災備蓄品一覧の整備基準日を3月31日とさせていただいておりますので、このちょっと前に賞味期限が切れまして、それ以降4月に入ってからちょっと整備させていただいておりますので、抜けておるタイミングでございました。そういうことでちょっとわかりにくい表示となっておりますが、申しわけございません。

○議長（泉 敏夫君） 1番、和田義清君。

○1番（和田義清君） 全協でお願いしました決算付属書75ページの公園管理費なんですけれども、①の自然公園管理事業の委託料、青島園地と蒲入園地の委託料のこの内訳を教えてください。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 自然公園管理事業の委託料47万9,000円の内訳でございます。

青島園地亀島区には17万7,000円で再委託をお願いしております。また、蒲入園地の蒲入区へは30万2,000円で再委託をしております。いずれも京都府からの補助金47万9,000円をそのまま再委託しているという管理状況でございます。

○議長（泉 敏夫君） ご質疑ございませんか。それでは、質疑を終わり、休憩をしたいと思います。

10時40分再開でよろしくお願ひしたいと思います。

休憩 10時30分

再開 10時41分

○議長（泉 敏夫君） それでは、再開します。休憩前に引き続き会議を開きます。

まず、増井管理者のほうより、休憩前の質問をお願いします。増井管理者。

○会計管理者（増井和彦君） すみません、大谷議員の質問について、決算付属書3ページ有価証券の件についてご説明を申し上げます。

まず初めに、売却に関しての金額でございますが、上から5つ目、東京都債、売却につきましては6月中旬ごろ売却をいたしまして、2億売却したのに対しましてその当時の利率が1.293、売却金額につきましては3,155万8,000円の売却益が出ております。その際の利息につきましては78万6,427円でございます。

次の地方公共団体金融機構債でございますが、これも6月中旬に売却を3億行いまして、その当時の利率が1.298、売却益が4,703万7,000円でございます。利息につきましては84万2,810円でございます。

もう一つ、大谷議員から質問がありました地方債の選択についてでございます。その売却をした6月の中旬ごろに市場で出回っております新発債について十分に庁内で議論をさせていただいた結

果、北海道債、それから大阪府債、島根県債というふうな3億、債券について購入をさせていただいたものでございます。

以上です。

○議長（泉 敏夫君） 続いて、梅崎次長のほうよりお願いします。梅崎次長。

○教育次長（梅崎 良君） 先ほど松山議員さんのほうから、公民館費の中で補正額が23万ございますが不用額が24万2,000円というふうなところで、この理由はというふうなご質問だったと思います。

まず補正額なんですけれども、これにつきましては工事請負費としまして本庄地区の公民館のエアコンの修理に、この中で17万7,000円ほど補正をいたしております。また、一般事務の賃金の部分の単価が変わるということで、その関係で5万4,000円ほどしてございまして、合計で23万6,000円の補正をお願いしたものであります。

不用額なんですけれども、これにつきましては、毎年、昨年度も同様に大体22万、23万というふうな不用額が出ております。これにつきましては、賃金だとか、そこに記載がありますけれども需用費だとかそれぞれの項目によりまして、不用といえますか余ってきておる、不用額が発生をして、それが積み上がって24万、結果としまして補正額よりも不用額のほうが上回ったというふうな、そういうふうな内容でございます。

○議長（泉 敏夫君） 答弁が終わりましたので、次に、特別会計の国民健康保険特別会計事業勘定の歳入歳出決算を対象としての質疑にしたいと思います。質疑ございませんか。

質疑がないようでありますので、続きまして、国民健康保険特別会計伊根診療所勘定及び本庄診療所勘定のそれぞれの歳入歳出決算を対象としての質疑を行います。質疑ございませんか。

質疑がないようでありますので、次に、簡易水道特別会計歳入歳出決算を対象としての質疑に切りかえます。質疑をお願いします。質疑ございませんか。

質疑がないようでありますので、次に、下水道事業特別会計歳入歳出決算を対象として質疑を行います。質疑ございませんか。

質疑がないようでありますので、次に、財産区特別会計歳入歳出決算を対象として質疑を行います。質疑ございませんか。

次に、介護保険特別会計保険事業勘定及び介護サービス事業勘定を対象として質疑を行います。質疑ございませんか。

質疑がないようでありますので、次に、訪問看護事業特別会計歳入歳出決算を対象として質疑を行います。5番、山根朝子君。

○5番（山根朝子君） 363ページの18、これ庁用器具というんですか、112万の支出ですけれども、何か買われたんですか。

○議長（泉 敏夫君） 石野課長。

○住民生活課長（石野 靖君） 全体的に少し金額が高いので、全て覚えていませんので、一度調べてから正確なものをお答えさせていただきます。

○議長（泉 敏夫君） ほかにご質疑ございませんか。

それでは、質疑がないようでありますので、最後に、後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算を対象として質疑を行います。質疑ございませんか。

ないようでありますので、ここで10分間休憩をします。11時5分より再開いたします。

休憩 10時55分

再開 11時02分

○議長（泉 敏夫君） それではちょっと時間まだですけれども、再開いたします。休憩前に引き続き会議を開きます。

石野課長より保留分を説明いたします。石野課長。

○住民生活課長（石野 靖君） 山根議員からの訪問看護事業特別会計における備品の内訳といたしますか、内容を説明させていただきます。

庁舎と連携といたしますか、職員にパソコン1台渡すように考えたこともありまして、そういったパソコン3台とレセプト作成用のパソコンで、パソコンが全部で4台になります。それで57万円

ぐらい。そのほか複合機、コピー機ですね、をかなりの高額の備品でないので、単年度、リースとかではなしに購入ということで48万6,000円、そのほか重要な書類等々の作成になりますのでシュレッダーとして6万3,000円、そういったものを買わせていただきました。

以上です。

○議長（泉 敏夫君） それでは全ての会計を通じて何かご質問ありましたら質疑をしたいと思います。1番、和田義清君。

○1番（和田義清君） すみません、ちょっと質問し忘れまして、決算付属書68ページ、観光費のところなんですけれども、②の誘客対策事業でトイレの借り上げの件なんです、応募者数及び採択者数が3件ということで記載いただいておりますが、これは、応募数が3件だったのに対して採択も3件したという認識でよろしいんですかという件と、2点目は、その下の③の広域観光・地域情報提供事業の伊根町の観光誘致ポスター製作にかかわりまして、募集点数が7社20作品で事業費77万2,200円というふうにご提示していただいておりますけれども、この審査方法はどのような形で行われたのかをお示してください。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○企画観光課長（上山富夫君） 和田議員のご質問です。

まず1点目、伊根浦快適散策用施設、トイレの借り上げの件でございますが、記載のとおり3件から応募がありましてその3件とも採択させていただいて、3件のトイレの設置ができたということでございます。

もう1点、広域観光・地域情報提供事業のポスター作製に係る審査は誰がしたのかというご質問でございますが、昨年のポスター作製につきましてはDMOの本社から審査員に来ていただきましたのと、それから伊根町観光協会長、伊根町商工会長、それから京都府の振興局の局長、また、それに加えて伊根町長から伊根町の副町長、この方々に審査をお願いして決定がなされております。

以上です。

○議長（泉 敏夫君） 1番、和田義清君。

○1番（和田義清君） トイレの借り上げ事業なんですけれども、これは応募が3件ということですが、もし応募が4件あった場合は4件もするというような認識でよろしいんですか。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○企画観光課長（上山富夫君） 実際には、毎年伊根地区には伊根浦散策ということで募集を伊根地区の方々にかけていただいております。今までには4件あって4件のトイレの借り上げをしておったときもあるんですが、昨年度については3件の応募に対して3件にお世話になったという状況でございます。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○企画観光課長（上山富夫君） すみません、例えばですが、10件とか20件だったらどうするかということもあろうかと思いますが、そうした場合は、十分地域性やらを加味しながら応募があっても必要な数ということで設定をお願いしていきたいというふうに考えております。

以上です。

○議長（泉 敏夫君） 5番、山根朝子君。

○5番（山根朝子君） それにちょっと関連して、例えば隣同士でトイレということではないですよ。だからそういう何かm置きとかそんな感じで基準みたいなものがあるんですか。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○企画観光課長（上山富夫君） 今はここに記載のありますとおり、平田で1カ所、立石に2カ所ということで、立石も間隔があいたところで設定がされております。隣にトイレが2つあってもそれは必要なかろうと思っておりますので、そのあたりは応募された方と十分検討しながら適正な配置を考えていきたいというふうに考えております。

○議長（泉 敏夫君） 4番、松山義宗君。

○4番（松山義宗君） 付属書の69ページです。伊根町観光協会補助金交付事業、この中で、旅行会社1社との契約というふうにあります。この契約された会社名と、それからそれをされて何か旅行を新たにつくられたりとか、その後の効果が28年度にあったかどうかということ。

それと、70ページ、伊根浦観光活性化事業、これで全協のときに質問してお答えをいただきました。旅行商品の造成はできていない、それから特産品開発の担当もできていないというふうにお聞きをしておりますが、これは管理不行き届きといいますか、誰が担当して本当はどういったものをしたかったのか、それをつくってどうしたかったのかというところをお聞かせください。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○企画観光課長（上山富夫君） すみません、まず、69ページの伊根町観光協会の補助金交付事業についてですが、キャンペーンの展開ということで旅行会社1社と契約というふうにあって、その業者名ということですか。申しわけございません。現在私のほうではちょっと承知をしております。契約はされていますが、業者名までは私が把握ができておりません。申しわけございません。

○議長（泉 敏夫君） 4番、松山義宗君。

○4番（松山義宗君） その後、じゃ、これがどのような効果を生んだかとか。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○企画観光課長（上山富夫君） はい、それについても、情報もまだ私のほうでは持ち得ておりません。

それから、もう1点でございます。

70ページの地域おこし協力隊の活動内容についてということですが、今回この部分では、インバウンド担当については、インバウンドの外国人対応等々についてはその効果はあったのかなというふうに考えております。

また、旅行商品造成と特産品開発については、見える成果はなかったということでご報告をさせていただきましたが、ただ、伊根浦ゆっくり観光のそのベースを、この地域おこし協力隊がベースとなるものをつくってくれたのかなというふうに思っています。その会の中でもじっくりと担当が、中心となって動きをつくってくれていまして、伊根浦ゆっくり観光の会もなかなかいい集客もできておるなというふうに見させていただいております。

具体的なほかの事業も手が出したかったというふうには聞いておりますが、この仕事だけ業務をさせたわけではございません。テレビの取材等々にも大きく対応させましたので、見える商品としてはゆっくり観光が手がけたツーリズムにはなりましたが、ほかのツアーの造成には至らなかったという状況でございます。

○議長（泉 敏夫君） 4番、松山義宗君。

○4番（松山義宗君） じゃ、地域おこし協力隊というのは雇用してよかったと、効果があったということでしょうか。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○企画観光課長（上山富夫君） 伊根町にとって効果のあるものだったというふうに考えております。

○議長（泉 敏夫君） 4番、松山義宗君。

○4番（松山義宗君） 決算付属書63ページ、林業費のこの鳥獣害対策にかかわる事業なんです、この中に追い払い隊ではなくて、何でしたっけ、猿をそのままやっつけてしまう、実施隊でしたっけ、それというのは伊根町の職員の方も入られているというふうに聞いておるんですが、税制面で狩猟税が無料になるということがあると思うんですが、その職員の方、仕事に出てくださいというふうなことになったときの扱いというのはどういうふうになっているのか。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 職員、私を含めて5名実施隊になっております。

私のほうが勤務時間中は指示をして駆除に出てくださいということで命令をして出させていただいております。

ただし、職員ですので勤務時間中ですので何もありません。時間外に出た場合は職員としての時間外手当を支給させていただいております。

○議長（泉 敏夫君） 4番、松山義宗君。

○4番（松山義宗君） 実際に現在加盟されている人数と、それから皆さんがそれぞれ駆除をされているのかどうかというのはわかりますか。一回は必ず駆除をされているとか。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 駆除につきましては地域割りもございますので、主にやっぱり大型捕獲おりを設置しておる箇所の駆除員の方、それから監視隊として週に3回出てこられる方が、やはり出やすいのでその方には集中しておりますが、一通り、皆さん実績がないと税制の優遇もありませんので必ず何かには出ていただいております。

また、大型捕獲おりににつきましては、新井で設置したときは皆さん総出で出ていただいで組み立てたということもあります。

○議長（泉 敏夫君） ほかにご質疑ございませんか。4番、松山義宗君。

○4番（松山義宗君） 先ほどの教育委員会のほうの答弁の中に、毎年20万ぐらいは余るんだというお話がございました。

これは教育委員会にかかわらず、ほかのところについてもちょっと不用額が多いんじゃないかなというふうに思うんですけども、その精査といいますか、予算の段階で割とざっくりされているのかなというふうな気がします。その辺、ちょっとお答え願いたいんですが。

○議長（泉 敏夫君） 鍵総務課長。

○総務課長（鍵 良平君） ただいまの予算の編成方針にかかわる部分ということで私のほうからお答えをさせていただきたいと思いますが、一般論として、不用額のないように私どもも予算の詰めはさせていただいております。

ところが、先ほど土木費のところでは白須課長からも答弁させていただきましたとおり、予算をもちまして国等へ要望を行ったものについて、予算どおりの内示が得られない場合が往々にしてございます。そういった場合、追加の内示があったような場合にはそれに直ちに対応できるような形で、当初の内示で全額をいただけない場合においても減額せずにそのまま年度末まで保有し続けるというような場合がございます。こういった場合は、先ほど白須課長の答弁にありましてとおり高額な不用額となってまいります。

一方で、教育委員会のほうで答弁させていただきました少額の不用額が積み上がってかなりの額になっておるという実態でございますが、それぞれ小さな経費であっても一定程度見積もりをいただいたり設計積算を行ったりして予算積算をしているものについて、実際にその発注を行った場合には競争原理が働くなどの理由で余ってくるものもございまして、実際の執行の段階でそういった執行後に余るということ想定して少な目の予算を持つというようなことが、入札なり契約の性質上できませんので、そういった場合、一応適正に私ども算出しておりますが、執行するとどうしても余りが出てくるという実態はございます。

そうした場合に、それを補正予算の中で減額整理を行っておるかといいますと、その部分については現在余らせていただいております。そのところにつきましては、年度末になるに従って明らかになってはくるものでございますが、そういった場合、適切に執行した残りをわざわざたくさん指数を持ちまして、予算書の印刷ですとか、執行の経過の状況やなんかはまた決算でもご質問があればお答えをさせていただく機会がありますことから、補正予算で余りに大きかった場合はさせていただく場合もございまして、そうしていない場合もこれまでたくさんございます。

こういったような事情で不用額発生しておるという実態でございます。

○議長（泉 敏夫君） ほかにご質疑ございませんか。質疑がないようですが、一般会計及び各特別会計の歳入歳出決算について質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（泉 敏夫君） 異議なしと認めます。

これで、議案第60号 平成28年度伊根町歳入歳出決算の質疑を終わります。

◎ 散 会

○議長（泉 敏夫君） 以上で本日の日程は全部終了しました。

本日はこれで散会します。

本日で全ての決算質疑が終了しましたので、9月20日に予定しております本会議は休会としますので、最終22日は午前9時30分から開催する予定でありますので、よろしくお願ひします。

なお、初めに一般質問から行う予定にしております。
本日はどうも長い間ご苦勞さまでした。

散会 11時20分

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

伊根町議会議長

署 名 議 員

署 名 議 員